

知事に説明求める

県議会が緊急団長会議



県議会団長会議で説明する神田知事

遺憾な問題」として神田知事に説明を求めた。

神田知事は「裏金と見られても仕方のない不適切な処理。職員のコンプライアンスの欠如。」「責任の大きさを痛感している」と改めて陳謝。その上で真相究明のための「経理適正化推進チーム」を立ち上げたことや専門家3人程度の「外部委

国の補助金などの不正経理問題で県議会は23日、各党派の緊急団長会議を開き、神田知事秋知事と呼んで説明を求めた。
会議には、議会側から栗田宏議長（自民・一宮市及び豊栗郡）、鈴木憲副議長（自民・田原市）と自民党県議団の小林功（宝飯郡）、民主党県議団の榊原康正（西尾市）、公明党県議団の渡会克明（豊橋市）の各団長、県側からは神田知事と永田清農林水産部長、湯山芳天建設部長が出席した。
栗田議長は「県民の信頼を裏切るまことに

員会」を設置して真相の究明と再発防止を図ることなどを説明した。

これに対し、小林自民党県議団長は「補助金予算の執行は法律で定められており、違反すると50万円以下の罰金または3年以下の懲役が課せられる。職員が今回の事案をどうと

らえているかが問題で、職員の意識改革が必要。再発防止のため知事から強いメッセージ

を」と要望した。渡会公明党県議団長は「県民の不安、不満、不信を一掃することが必要。これからの対応をきっちりやってほしい」と述べた。

また、榊原民主党県議団長は「悪い情報が知事まで届いておらず、風通しが悪くなっている。来年度予算編成の大事な時期。一刻も早く解決を」と要望した。
(後藤康之)